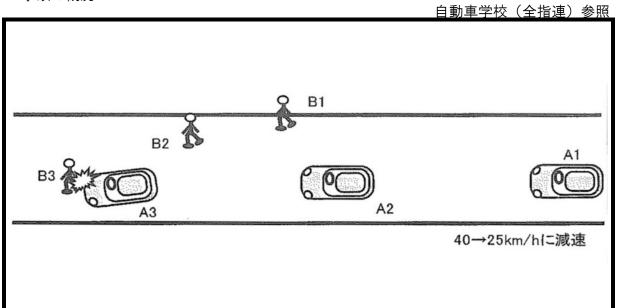
■事故の概況



事故類型: 横断中

発生日時:6月 午後1時30分頃 晴れ 当事者A:普通乗用車 20歳代 男性 当事者B:自転車 小学生 男性

■ 事故の概要

Aは、センターラインも歩道もない往復1車線の道路を走行中、約40m先の道路右端を歩いているBを発見し、子どもなので用心のため、時速約40kmから時速約25kmに減速しました。Bまで約10mに近づいたとき、Bが突然走って道路を斜めに横断し始めたので急ブレーキを掛け、ハンドルを左に切って避けようとしました。Aは衝突の直前に用心のため減速していましたが、油断したため回避操作が間に合わず、衝突してしまいました。

一方、Bは交通量の少ない道路右端を友人との待ち合わせの場所に行くために歩いていました。待ち合わせの場所が近づいたのでそろそろ道路を横断しようと思っていました。 1台の車が後方から追い抜いて行きました。もう車は来ないだろうと思い、後ろを確認することなく道路を斜めに駆け出したため、A車に気がつかないまま衝突してしまいました。

■ 事故から学ぶ

Aは、歩道の区別のない道路を子どもが歩いているときには、特にその行動に注意して 運転することが大切です。時にはクラクションを活用するなどして注意を促す方法もあり ます。

Bは、車が1台通り過ぎたからといって油断せず、横断歩道が近くにあれば横断歩道を活用し、ない場合でも道路を横断するときは、必ず左右の安全を確認して横断すべきでした。